

令和元年度 二戸市総合計画推進委員会 議事録

開催日時：令和2年3月26日（木）午後1時30分～2時55分
会場：市役所1階会議室

【出席委員（敬称略）】

久慈 浩（委員長）、（以下五十音順）阿部悦子、大建ももこ、小野寺功、黒沢一史、長葎常紀、堀内晋介、三角 壮一

【オブザーバー】

川上 隆 二戸市ふるさと支援アドバイザー

【説明のため出席した職員】

藤原市長、大沢副市長、田中館総合政策部長、久慈総務部長、佐藤産業振興部長、石村建設整備部長、山本浄法寺総合支所長、玉懸教育部長、平千秋健康福祉部副部長兼健康福祉企画課長、小野昭徳総合政策部副部長兼政策推進課長、立花幸博公民連携推進課長、佐藤和貴公民連携推進課副主幹、斉藤梢政策推進課主査

～～～ 開会 午後1時30分 ～～～

斉藤主査
（進行）

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。ただいまより、令和元年度二戸市総合計画推進委員会を開催いたします。

はじめに、本日ご出席の委員の皆様を、ご紹介いたします。

（出席委員の紹介）

なお、本日はオブザーバーといたしまして、二戸市ふるさと支援アドバイザーの川上隆様に、ご出席いただいております。次に、市側の出席者を紹介いたします。

（市側出席者の紹介）

次第の2、あいさつに移らせていただきます。始めに、本委員会の委員長でございます、久慈浩様より、ごあいさつを頂戴します。

久慈委員長

本委員会の委員長を務めます、久慈でございます。本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。平成28年度から始動いたしました、二戸市の第2次総合計画は、来年度、前期基本計画の最終年度を迎え、後期基本計画の策定を行うこととなります。今回の委員会では、総合計画に掲げる各事業の、今年度の主な成果と、来年度の主要施策について、ご審議いただきたいと思っております。また、平成27年度に策定しております、二戸市の地方創生に係る方向性を示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、5年間の計画期間を1年延長すること、そして、市民協働事業の状況についても、ご審議いただきたいと思っております。この委員会では、二戸市が、総合計画に掲げる未来像の実現のため、その方向性を協議いただく、貴重な機会となっております。委員の皆様におかれましては、ぜひ、忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。

斉藤主査

久慈委員長、ありがとうございました。次に、藤原市長よりごあいさつ申し上げます。

藤原市長

皆さん、こんにちは。本日は、年度末の大変お忙しい中ご出席を賜りまして、本当にありがとうございました。今世の中はコロナウィルスで大変混乱しているところですが、市内飲食店や旅館等においても大変大きな打撃を受けているところがございます。私どもとしては、地域の経済を維持しつつ、また市民の生活を守っていかなければならないと強く感じているところがございます。関係団体と連携を図りながら、コロナウィルスに立ち向かってまいりたいと思っております。先ほど委員長からもお話がありましたが、平成28年度から始まった総合

計画も、4年が経過しようとしているところでございまして、来年度が後期基本計画の策定年度であります。この計画を作った4年前を振り返りますと、交流も盛んではなかったと思いますし、漆につきましても、滴生舎では、ニューヨークでの事業によって、実際に向こうの飲食店等で使われている器と同じモデルが展示されており、ここまで進んだのだなと感じたところでございます。漆に関して言えば、今2.4トンぐらい必要だということに、今年度は1.4トンの生産でありましたので、原木の確保などを行いながら、需要にこたえていきたいというところでございます。また、市の計画に通じるものとしたしまして、これまで続けてきた「宝を生かしたまちづくり」を、産業に結び付けていこうということで、金田一温泉を中心としたまちづくり、福岡地区では九戸城跡を中心としたまちづくり、浄法寺地区では天台寺周辺と漆を中心としたまちづくりが今、行われておりまして、おかげさまで一つひとつ着実に進んでいる、というところでございます。金田一温泉センターについては、だんだんに形が見えてくるところだと思いますし、初めての「公民連携」という形をとらせていただきながら、民間の皆さんが中心になって進めていただいているところであります。九戸城跡につきましても、先ほど長葭委員さんもお覧になったとこのことでございますが、九戸城と福岡城、両方の城の形がみられる城跡というのは珍しいということで、それらを売り物にしなが、市民の皆さんや市外から訪れた皆さんに歴史に親しむ場所にしたいと思っておりますし、浄法寺地区につきましても、それこそ天台寺が360年ぶりの大改修を終え、4月には皆さんにお披露目できます。残念ながらコロナの影響で、大々的な催しはできませんが、それぞれ見られる形で、今度始まる「ラジオ de ウォーク」などのイベントを通じて、情報発信を行っていきたく思っております。あと、若い方々が本当に活躍しておりまして、産業面においては、市内企業の方々が食の多様性に着目した「フードダイバーシティ」宣言を行ったところでございまして、これから取り組んでいこうというところでございます。このような取り組みとともに、他の部分の底上げも一緒に行わなければならないと思っておりますので、皆さんのお力をお借りしながら街づくりを進めてまいりたいと考えております。まずは、本日、これまでの事業の内容と、来年度どういった事業を展開していくかというところについてご説明してまいりたいと考えておりますので、忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

斉藤主査 続きまして、次第の3、議事に入ります。二戸市総合計画推進委員会設置要綱、第6条の2の規定により、委員長が議長を務めることになっておりますので、議事進行を久慈委員長にお願いいたします。

久慈委員長 (議長) 本日は、委員の皆さんのご協力をお願いします。議事の(1)、第2次二戸市総合計画等における令和元年度主要事業の成果と令和2年度の主要事業について。事務局より、説明願います。

田中館 総合政策部長 (資料1の説明)

久慈委員長 説明が終わりました。何かご質問やご意見があればお聞きしたいと思っておりますが、いかがでございませうか。本日は、主要事業の説明に合わせ、地方創生推進交付金事業などについてもご説明いただきました。長葭(ながよし)委員は、どのような印象をお持ちになりましたか。

長葭委員 まず、市長挨拶についてですが、原稿なしでここまでお話しになられるのは、大変立派だと思います。先ほど、資料とともに新聞記事も見せていただきましたが、こんなにほめてくれる新聞はないなと思っていました。それだけ市の皆さんが頑張っているからだと思っておりますので、ぜひこれからもマスコミに対する情報提供を積極的に行っていただきたいと思っております。漆は順調だという印象ですが、これからは金田一温泉地区の公民連携事業を、全力を挙げて展開していく、ということなんですよ。そこで、ふるさと納税の返礼品についてですが、この返礼品というのは、地域の宝ですよ。二戸もリンゴとお酒が目立つ印象があります。せっかく宝があるんですから、もっと増やしてもいいと思っておりますよ。金田一温泉の宿泊券というのも、返礼品に加えてもいいのではないかな、と思いました。

久慈委員長 他に、この件に関して皆さんからご意見等ありませんか。なければ、この件について、田中館部長からお話ししてもらえますでしょうか。

田中館 総合政策部長 大変ありがとうございます。マスコミの方々には正確な情報を出し、厳しく見ていただくことでお願いしてきております。漆につきましても、新しい動きということで、先日、滴生舎の女性職人さん方による合同会社が立ち上がったところでございます。それから、ふるさと納税については1億円を突破したところですが、返礼品の登録件数は100件を超えておりまして、一番人気は漆器でございます。また他にも、三大ミートやリンゴなどさまざまございます。登録制を導入しておりますので、宿泊券につきましても、さらに展開していきたいと考えております。

久慈委員長 他にありませんか。さまざまな分野の方々が集まっておりますので、民間の目で見たとご意見等、役所の方々が気付かない部分などがあるかもしれません。

小野寺委員 金田一温泉センターについて、概算事業費の見直しの規模は、どれぐらいなのか。また、地元業者が適用できるような内容で見直しをしているのか、教えていただきたい。

田中館 総合政策部長 地元業者をとという話と、建設業者への適正な発注を行わなければならないということとでさまざま調整を行っておりますが、あれもこれもという思いと、現実の差の調整を続けているところでございます。近々お示しできると思っておりますので、そうすると今後のスケジュールも明らかになりますので、確実に進めていきたいと考えております。

小野寺委員 ちなみに当初の計画とはかなりの差があると。

田中館 総合政策部長 最初の提案のとおり事業を進めているうちに、事業費が変わってくる見通しとなってきたので、経営の観点からも見直しを行い、適正な範囲で進めていきたいと思っております。

久慈委員長 他に、ご質問やご意見はございませんか。それでは、次に移ります。議事の(2)、総合計画 後期基本計画の策定等について、事務局より説明願います。

小野副部長 (資料2の説明)

久慈委員長 説明が終わりました。皆さんからご質問、ご意見等ございませんか。どんなことでもいいです。阿部委員さんのほうから、何かありませんか。

阿部委員 二戸市には大きなプロジェクトがありますので、ぜひそれをやり抜いていただきたいと思っております。それによって、二戸市が注目され、そういうまちだという認識が広がっていくと思っております。私事ですが、4月にグループホームを開所予定でして、14名、短期入所2名を受け入れます。二戸市さんはじめ、多くの皆さんにご協力をいただいて開所いたしますが、まち中に障害者がいても、安全、安心ですよということを、3年かけて証明していかなければならないと思っております。そして、私たちの事業を通じて、二戸市に恩返しができればと思っております。また、私たちは「三の丸」と九戸城跡周辺にありますが、今若い人たちはみんな車で遠くに行きますよね。できれば、金田一温泉や九戸城跡にも寄ってもらうよう、魅力あるプロジェクトの推進と、集客の仕組みを完成させなければいけないなあと思っております。だからといって私が何をすればいいのかというところとわかりませんが、そのような市民の協力の形を発信していただけるといいなあと思っております。

久慈委員長 今の阿部委員の要望または意見について、何かありますか。

田中館 総合
政策部長

大変ありがとうございます。まさに、市長はじめそのようなことを言ってきておりまして、3つのエリアを元気にして、それが広がっていくことで変わっていかねばならない。ですから、天台の湯につきましても、今条例を改正しまして、もっと人が来られる形をつくっていきます。また、自然や食の魅力を「テロワール」として発信し、回遊できる仕組みづくりも進めなければなりませんし、そのためには民間の皆さんと一緒に、それぞれの力を発揮していただき、連動できる形を実現させていきたいと思っております。予算についても限りがありますので、全体を見ながら進めていきたいと思っております。

藤原市長

滞在時間を長くして、1泊、2泊でカシオペア地域を回る、と想定したときに、どのようなコースがいいかとなると、やはり体験メニューを提供し、地域に入り込む必要があると思っております。さまざまなお金を使う方法が考えられるのではないかなと思っております。それから、予算等については、これから人口減少が進み、国の交付税等が減ってくるなどして、まさにここが正念場になってきます。しかしながら、区画整理事業など、多額の事業費がかかる事業も抱えております。従いまして、岩手県で初めて国土強靱化地域計画を策定し、有利な財源を得て整備を進めるなど、情報のアンテナを高くしております。金田一につきましても、さまざまな方法を模索しながら進めておりますし、そのように、職員が常に課題を把握しながら予算も確保するというのが、私たちのような小さいまちの工夫のしどころだと考えております。

久慈委員長

他に、ご意見などございませんか。なければ、議事の(3)、市民協働について。事務局より、ご説明願います。

立花課長

(資料3の説明)

久慈委員長

説明が終わりました。ただいまの議題については、委員の皆さん方が、地域で普段考えておられることなど、行政から見えない部分になると思っております。非常に大事なところだと思いますので、ぜひこの機会に、ご質問やご意見など、お願いします。

黒沢委員

補助金のメニューがこんなにあるのは知らないかもしれませんので、アピールが必要かもしれませんね。

立花課長

地域の元気づくり補助金のことになるかと思いますが、補助金等につきましては毎年、広報でお知らせしているほか、支援制度に係る説明会も各地区で行っておりますし、活用に係る支援も行っております。地区のほうにはだいぶ制度が浸透してきたのかなと思っております。ところでございますが、令和元年度につきましては、前年度の倍ぐらいの申込がありまして、予算の範囲内にはなりますが、なるべく全部対応したいと考えております。今後につきましても、しっかり周知を図りながら、どんどん活用していく形を作りたいと思っております。

久慈委員長

三角委員さんは、何かありませんか。

三角委員

浄法寺地区のほうでは今、子どもが非常に少なくなっております。昨年、御返地中学校が統合されたところでありますが、浄法寺地区でも10年ぐらい先を見ると、存続が非常に心配になります。浄法寺地区では、生徒の減に伴い、次年度からクラブ活動が必修ではなくなるそうです。また生徒の減少により、野球部の活動ができなくなるそうです。団体競技ができるような状況を、スポ少などでカバーできたらいいのですが、浄法寺地区だけでの存続は難しく、二戸地区のほうに参加させてもらうことを想定した場合、やはり送迎が保護者の負担になりますので、スクールバスを出してもらえるといいなあとも考えます。やはり、運動の機会が減ることが懸念されますし、やりたいことがやれないという状況は何とかしたいなあと考えているところでございます。あと、今回委員会の開催にあたり、アクションプランを送っていただきましたが、数字を追いきれないなあという部分もありまして、もう少し簡単だいいなあと思いました。

久慈委員長 その点については私も最もだと思いますが、今の三角委員のご意見について、何かお答えすることはありますか。

玉懸 教育部長 ただいまのご意見につきましては、これからの大きな課題であると思います。スクールバスにつきましては、距離や移動時間を考慮する必要があるかと思えます。来年度、後期基本計画と併せて、教育振興計画の見直しの年となっておりますので、現状を把握しながら、保護者の方々のご意見をうかがう場などにおいて、住民の方やお子さんのリクエストにお答えできるよう、十分検討してまいりたいと考えております。

大沢副市長 私のほうからは、アクションプランについてお答えさせていただきます。アクションプランにつきましては、委員おっしゃるとおりだと思います。第2次総合計画は、30年後の未来像に向かって、10年間でやるべきこと、として策定しておりますが、基本理念や計画の方向性については、実際どうするのか職員もよくわからない、という部分がありました。そこで、前期、後期の基本計画の下に、具体的に進める方法として初めてアクションプランを作りまして、事業の検証をしながら進めることとしております。アクションプランが難しい、というご意見もあると思いますが、委員の皆さんにおかれましては、市の施策の参考としていただきたいと思います。こちらにつきましては、どちらかという私たち職員が頭の中に入れておくべき内容でございます。

久慈委員長 私のほうからもお願いしたいのですが、もう少し行間の広い資料だと、書き込みなどもできてわかりやすいと思えますので、よろしくお願ひします。他にありませんか。市民協働は市民の皆さんも興味がある部分だと思います。大建委員はいかがでしょう。

大建委員 資料の中に「地域を知る研修会」というものがありますが、おそらく市の取り組みがいろいろつながっているものなんだろうと思ってお話を聞いているのですが、人材育成のため、若手職員向けに開催するというところで、民間の人と一緒に入って学ぶ機会と理解してよかったですでしょうか。

立花課長 この研修会は今年度初めて、若手職員向けに、市民協働の考え方や、地域のことなどを職員も把握していない部分が大いと思われまますので、しっかり学ぶ機会として開催したものです。一般向けには開催しておりませんが、今年度は地域を知るためのツアーなどを実施しております。今後につきましては、このようなツアーを活用しながら、市民の方にも参加いただける形も検討していきたいと思ひます。

大建委員 コロナウィルスの関係もあって、かえって今が、地域のことを勉強するチャンスなのかなと思ひます。テロワールや漆、日本酒など、文字としては見てきているものの、感覚としてまだ染みついていないのかなと思ひます部分もありますので、もっと深い部分を、民間も一緒に勉強する機会があればと思ひます。

田中館 総合政策部長 市には、出前講座というものがありますので、職員を派遣して一緒に勉強する機会となりますので、ぜひ活用いただけたらと思ひます。テロワールなどに関しても、市の職員もよく知らないで自分の仕事ばかりしていたら、視野が広がりませんので、逆に、市民の方々に講師になっていただいて、地域のことを勉強する機会も必要ですし、こちらから出向いて説明する機会もあると思ひます。職員も理解しなければならぬということで、これからもお願ひできればと思ひます。

久慈委員長 コロナウィルスによる影響は実際大変なことだす。経済破綻も懸念される。そのような中、行政としてはそのような方々とどう話し合ひの場をもつ予定があるのかなど、お聞きたひ。

藤原市長 産業界においては、まず現状を知る必要があります。また、地域経済維持のために、外に出るなど言われている状況ではありますが、手洗い、うがい、除菌を徹底しながら、普段の生活を送ってほしいと言っています。市は先日、庁内会議において、十分に気をつけながら、万が一の場合にも備えることとしました。また、今後の行事予定と対策について検討し、市の方針を早急に決定する予定です。人がたくさん集まる機会などにおいては体温計の用意も検討しています。また、会議の場などではマスクやアルコールを用意するなど、対応しております。なお、5月の消防演習は、対策を講じながら実施する考えです。学校は、新学期から普通通りとなる予定でありますし、行政としても最低限のことを守りながら、進めていきたいと思っております。もちろん、感染者が出た場合は別の対応になりますが、現状をふまえた上では、5月に予定している天台寺の「ラジオ de ウォーキング」も実施の考えです。

久慈委員長 市内においても、大手飲食店では、3月の予定キャンセルが相次いでいるそうです。小さいお店ももちろんそうです。3月というのは12月に次いで飲食店もかき入れ時。行政もある程度他市町村の状況なども含めて、把握しておいていただきたい。長葭委員、盛岡の状況はどうですか。

長葭委員 盛岡市内でも、飲食店のキャンセルが相次いでいる、という話を聞いています。またつなぎ温泉については、お客さんが8割減となっているようです。

久慈委員長 この問題に関しては、行政もこのことに関心をもっていたいただきたいと思います。委員長としてお願い申し上げます。その他、皆さんから何かありませんか。

藤原市長 次の後期基本計画策定の際に課題として考えなければならないのは、人口減少に伴う、空き家の増加や労働力の減、また、学校の統合や公共交通の維持など、併発するであろうさまざまな問題です。また、子ども子育ても同様です。子ども子育てにつきましても、医療費助成やインフルエンザ接種助成の拡大などを行うところではありますが、かねてから「二戸市は遅れている」という声があります。しかしながら、産前産後母子支援事業や、幼保無償化への対応を進め、今年度は「第2期子ども子育て支援事業計画」を策定しました。今後、計画に基づき、限られた予算の中で優先順位を検討しながら、施策を進めていきたいと思っております。それから、足元の課題といたしまして、労働力の確保が挙げられます。外国人の受け入れなどもますます多くなると思いますが、産業の振興を図りながら、若い人たちも次々戻ってくるような、農家の方が子どもを大学まで入れられるよう、しっかりと所得を得ることができる仕組みづくりを、一体的に考えていくことが必要です。また、本市の強みは民間企業の方々がかぐいぐい引っ張る力を持っていることですので、市は、企業がよそから外貨を稼ぐ力を伸ばすことと、地元事業者の遅れをカバーしながら、限られた予算の中で施策を進めていく必要があると考えております。どういうふうに進めたらいいのか、一番困っているのは誰なのかという部分を把握しながら、計画の策定に持っていきたいと考えております。先ほど、アクションプランのお話しもありましたが、今掲載されている702の事業が回りだせば、素晴らしい市になると思っておりますが、なかなかうまくいかない部分もありますので、事業の精査をしながら進めていきたいと思っております。

阿部委員 医療費助成について、高校生まで拡大できるのは、二戸市はすごいなと思いました。

久慈委員長 委員の皆さんから何かございますでしょうか。なければ、これにて議事を終了したいと思います。ご協力をいただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

斉藤主査 久慈委員長、大変ありがとうございました。これにて、令和第2回二戸市総合計画推進委員会を閉会いたします。お疲れさまでございました。